

コア・インパクトの特定について

投融資の種類		インパクト特定に当たっての考え方	ポジティブインパクトの特定	ネガティブ・インパクトの特定
A)多様なインパクトを包括的に把握すべきもの	コーポレートファイナンス、上場株式投資など	<ul style="list-style-type: none"> 各インパクトカテゴリーを包括的に考慮 インパクトニーズは地域によって異なるため、所在する地域においてインパクトニーズが高いものから考慮 日本におけるインパクトニーズが大きくないと考えられる項目については、適宜、簡易化して適用することも考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> 将来的に創出し得るインパクトをフォワードルッキングな視点から特定することが望ましい 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や事業セクターごとのインパクトニーズを踏まえ、サプライチェーンやその他のカテゴリーにおいてもネガティブインパクトが発生しないよう、包括的な視点から確認
B)特定のポジティブインパクトを狙いにいくもの	プロジェクトファイナンス、インフラ・不動産投資、PE投資など	<ul style="list-style-type: none"> 各インパクトカテゴリーを包括的に考慮することが望ましいが、まずは、想定されるインパクト領域を特定 	<ul style="list-style-type: none"> 投融資対象となるプロジェクトにより生み出そうとするポジティブインパクトの狙いが明確である場合、想定されるインパクト領域を特定 	<ul style="list-style-type: none"> 発生した場合に重大な影響を及ぼすネガティブインパクトが明確である場合、想定されるインパクト領域を特定
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>※その他、グリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則、グリーンローン原則等のように、インパクトの意図、特定・評価・モニタリング、開示に係る原則が別途確立しているものについては、その原則に基づき取り組むことが求められる。</p> </div>				